Windows11の新機能(神機能)等

JJ1SXA/池

日進月歩で強化される Windows11 の新機能、その新機能を全て把握するのは至難の業、便利だなあと感じた一部を取りあげてみた。

Windows キーは、単独で押せばスタートメニューが開くだけだが、OS 関連のショート カットキーが数多く割り当てられている、Windows がバージョンアップを重ねるにつれ て、その機能はどんどん増えている。

先ずは、Windows キーを使ったショートカットキーの定番技

[Windows キー]+[E]…エクスプローラを起動

[Windows キー]+[D]…デスクトップ画面の表示・元の状態に戻す

[Windows キー]+[I]…設定画面の表示

[Windows キー]+[L]…パソコンをロック(解除は、「Ctrl」+「Alt」+「Delete」から)

[Windows キー]+[1]~[0]…タスバーにピン留めしたアプリを起動

上記ショートカットキーに[Shift]、[Ctrl]、[Alt]を加えると、以下のようになる
[Windows キー]+[1] ~[0]+[Shift]…そのアプリで新規ウインドウが開く
[Windows キー]+[1] ~[0]+[Ctrl]…最後のアクティブウインドウに切り替わる
[Windows キー]+[1] ~[0]+[Alt] …そのアプリのジャンプリストを表示

Windows の機能強化で Windows キーを使ったショートカットキーも追加・変更されている

[Windows キー]+[A]…クイック設定パネルを開く(11 で変更)

[Windows キー]+[T]…タスクバー上のアプリを選択(11以前と選択動作が異なる)

[Windows キー]+[H]…音声認識サービス起動(11 で日本語に対応)

[Windows キー]+[N]…通知センターを開く(11 で式追加)

[Windows キー]+[>]…絵文字パネルを開く(10の大型アップデートで追加された)

私の場合、頭では覚えきれない、あんなのがあったな、こんなのがあったな程度で覚 えておいて、後は書いたものを見るしか無い(笑)

QRコード読み取り(Sniping Tool)

ウエブページや PDF の QR コードを読み取るのにスマホのカメラを使う必要は無い、標準キャプチャーアプリの「Sniping Tool」でも QR コードは読み取れる。

QRコード内の内容によっては、スマホで読み取ってスマホで文字入力するより、PC

で読み取って、PC で文字入力する方が楽だし効率が良い。

QRコードの PDF などを表示した状態で「Windows」+「Shift」+「S」キーを押して 「Snipping Tool」を起動、上部バーの「カメラボタン(右の×ボタンの左隣のボタン)」をク リック、取り込む範囲をウインドウにして、この QRコードのあるウインドウをクリックしてス クリーンショットを撮影する。

デスクトップ画面上に表示される通知画面をクリック、画像内の QR コードが認識されて URL が表示されるので、QR コードに表示された URL をクリックする。 *スクリーンショットの撮影は以下で。

「Windows」+ 「Print Screen (Prt Sc) אין לען שלין Windows」+ \mbox{Shift}

クイックアシスト(遠隔操作)

このアプリは、遠方の家族や知人にパソコンの使い方を教えたりするサポートに最適 だ、遠隔操作で有名なソフトは「TeamViewer」や「Google Chrome リモートデスクトッ プ」などもあるが、このアプリは接続が簡単で、手書きなどで操作方法を伝える便利機 能もあり、Win11の標準アプリだから改めてインストールする必要も無い。

接続するには、双方でアプリを起動(「Ctrl」+「Windows」+「Q」を押すと次の画面 が開く)

📮 クイック アシスト		10	×
69	サポートを求める		
	信頼できるユーザーに画面の表示また は PC の制御を許可します。	5	
	アシスタントからのセキュリティ コ・ ド	-1	
	ロードの入力		
	送信		
Q)	他のユーザーを助 ける		
	画面を共有してくれるよう知り合いに 依頼します。	3	
	他のユーザーを助ける		

操作する側=サポート提供者は、「他のユーザーを助ける」を選択して表示されたセキュリティコードを依頼者へメール等で伝える。

サポートを依頼する側=依頼者は、「サポートを求める」で、サポート提供者から提供 されたセキュリティコードを入力、「送信」クリック、これで接続が完了する。

接続が確立されたら、依頼者のデスクトップを共有し、PCの操作を手伝い、サポート が完了したら、「退出」を選択して接続を切断する。

「レーザーポインター」や「注釈」で画面に書き込むと相手に伝わりやすい、「レーザ ーポインター」は一時的な書き込みで、「注釈」は接続中ずっと残る、 また、「チャット」 を押して、文章でチャットもできる。

使う際は信頼関係が大事、依頼者のPCはサポート提供者から丸見え、遠隔操作が許可されていれば、サポート提供者は依頼者のPCを自由に操作できてしまうので、そのことを理解して利用するべきだ、家族の場合は良いとしても、知人等の場合は十分注意が必要だ。

註:Win11の標準アプリだから改めてインストールする必要も無いと書いたが、もし入っていなかったら、「Microsoft Store」アプリからインストールする。

スマートホン連携アプリ

Win11のスマホでは標準なので連携機能は充実している、スマホを鞄に入れたまま スマホに届いたアプリ通知を確認でき、かかってきた電話にも出られる。

Lineの返信や、スマホで再生している動画・音楽の制御もパソコンで可能、さらに、 スマホで撮影した写真の閲覧や、ファイルの受け渡しなど、様々な機能がある。

使うのは「スマートホン連携アプリ」 Win11 では標準なので、スマホに同名のアプリ を導入してセットアップし、パソコンと同じ Microsoft アカウントでリンクする。

指示に従って、アクセスを許可すると、スマホとパソコンが連携する、Andoroidと iPhoneのどちらにも対応するが、前述の機能全てが使えるのは Andoroid だけ。

iPhone は、主に通知と SMS 受信だけなので、iCloud (アイクラウド)を併用すると良い ようだ(私は、iPhone を持っていないので試用できない)。

まだまだ、Win11 には便利機能が盛沢山だ、一部を紹介したが、自分で実際に使っ てみたものだけだが、時間がある時に使ってみたいアプリが一杯ある、使ってみて良い と思ったものをまた改めて紹介することにする。

サンデー毎日の身なれど、結構雑用で時間を取られている、人生の残り時間もいくら も無いというのにだ。(笑)

(2025年5月記)